

救急外来に5S活動を取り入れた 5年間の取り組み

大石初巳¹⁾, 仲田綾子¹⁾, 大石麻理子²⁾
市立島田市民病院 救急外来¹⁾ 外科²⁾

背景と目的

自院は市唯一の総合病院で年間4052台(H24年度)の救急搬送を受け入れる2次救急病院である。救急外来は、対応する患者の重症度・緊急度・疾患・年齢も様々なため備品で溢れている。5年前より、患者・医療者ともに安全で効率の良い医療を行われることを目指し5S活動を導入した。

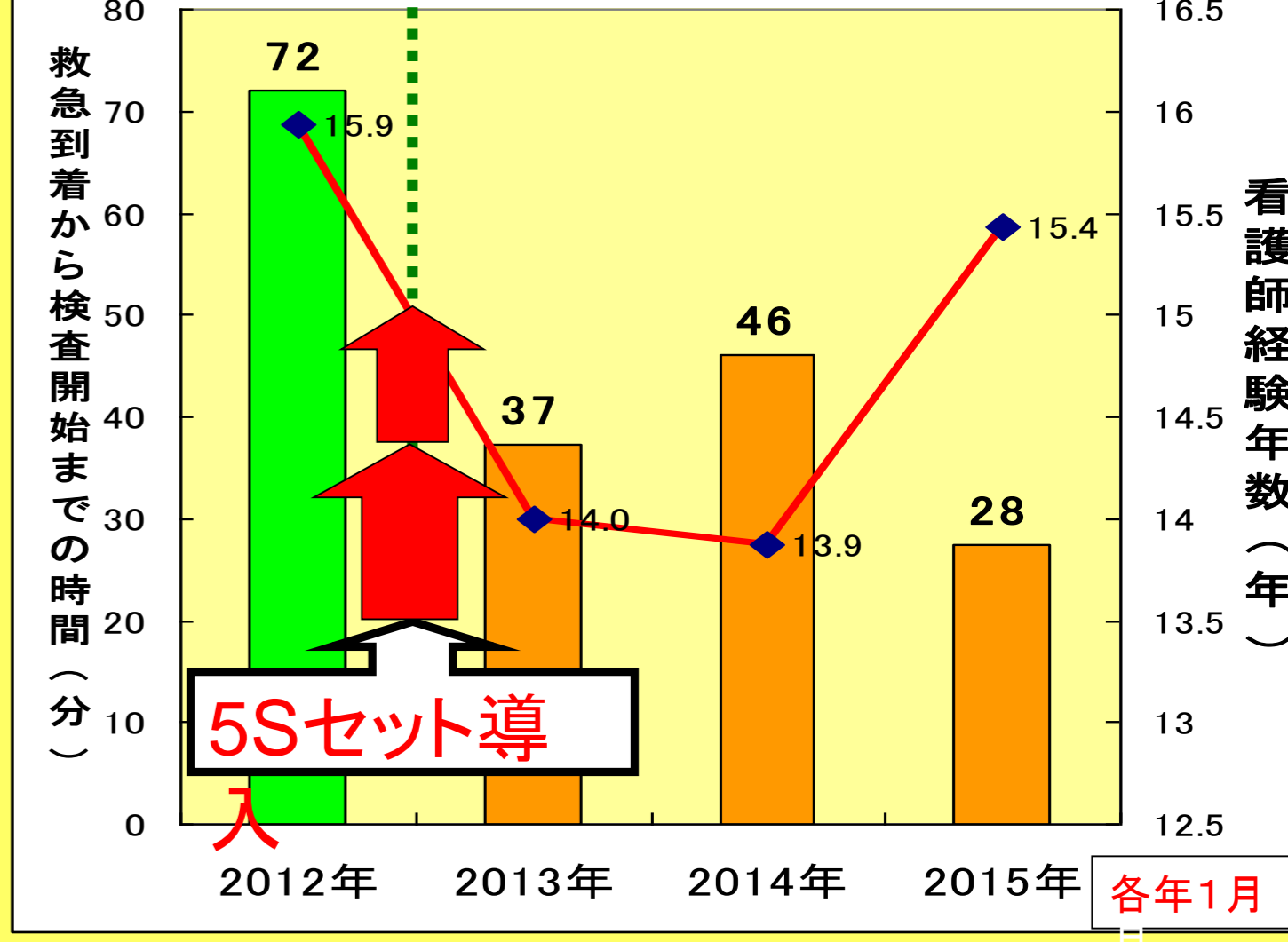
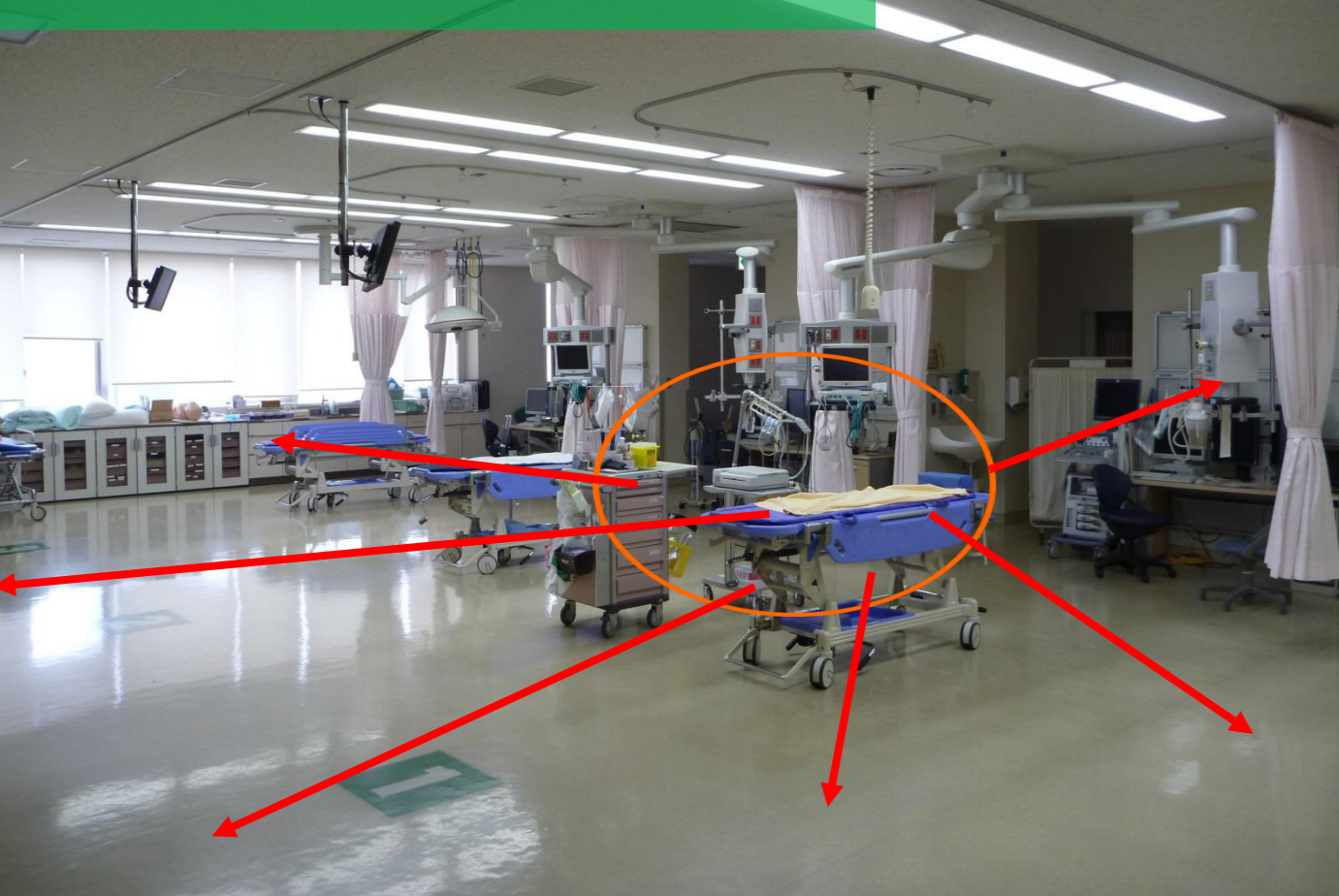
結果

- ①救命率の向上: 心臓カテーテル検査出し時間短縮(夜間帯平均15分短縮)
- ②医療安全: インシデントレポート数(他部署の6分の1 年間6件平均)
- ③業務効率上昇: 定期的な定数検計・日切れチェックの実施(消耗品29品目中止・98品目定数削減)
- ④職務満足向上: アンケート調査では全員が「非常に満足である」と回答
- ⑤診療材料費用削減: 22.5万円/年
- ⑥清潔: 週間予定表に細かく清掃箇所・清掃方法の記入・実施率98%

取り組み

1年目 頻度の高い業務の整理整頓・統一したラベリング・定位置決め(心臓カテーテルセット・胸腔ドレーナージセット等導入)

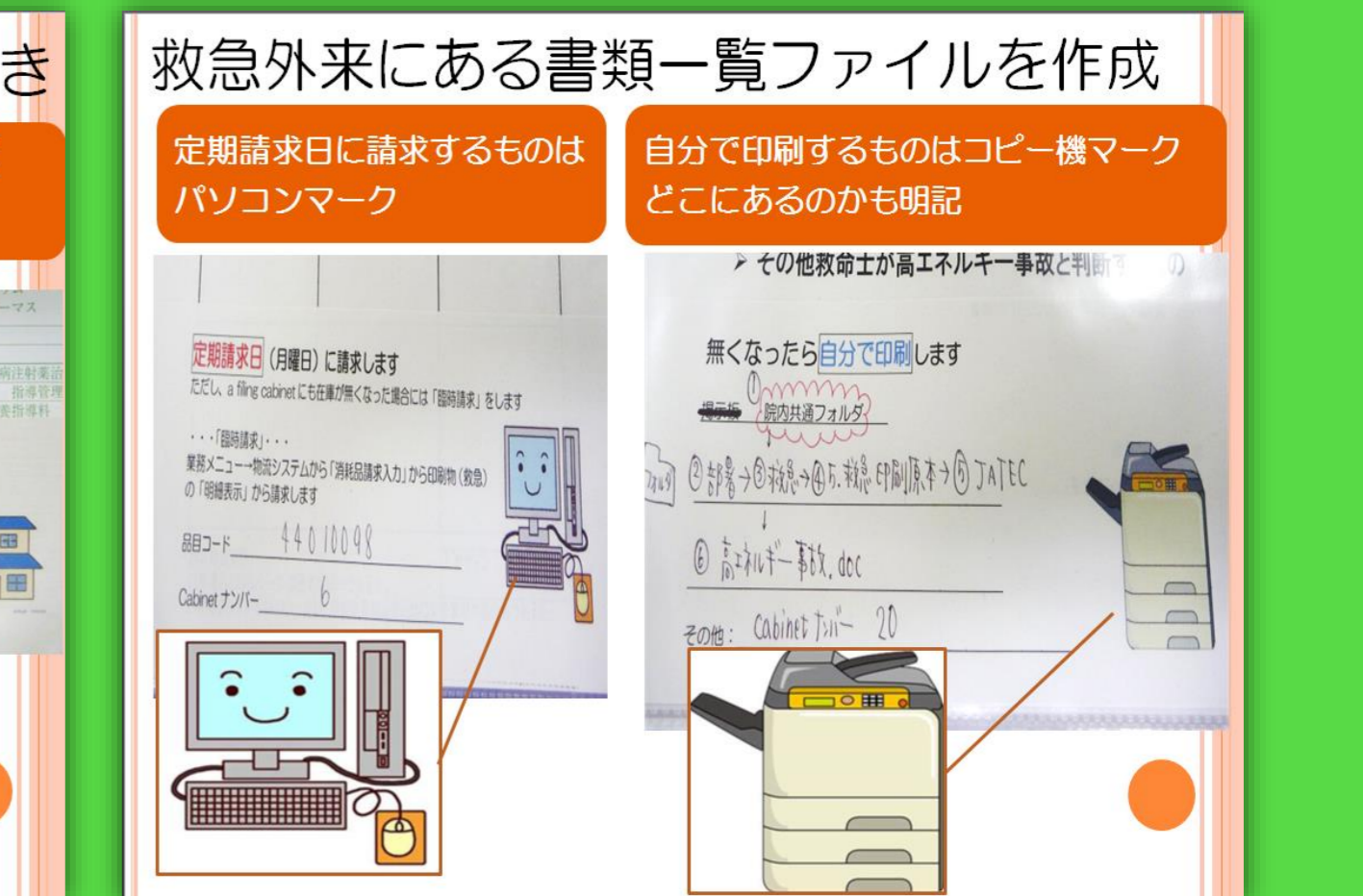
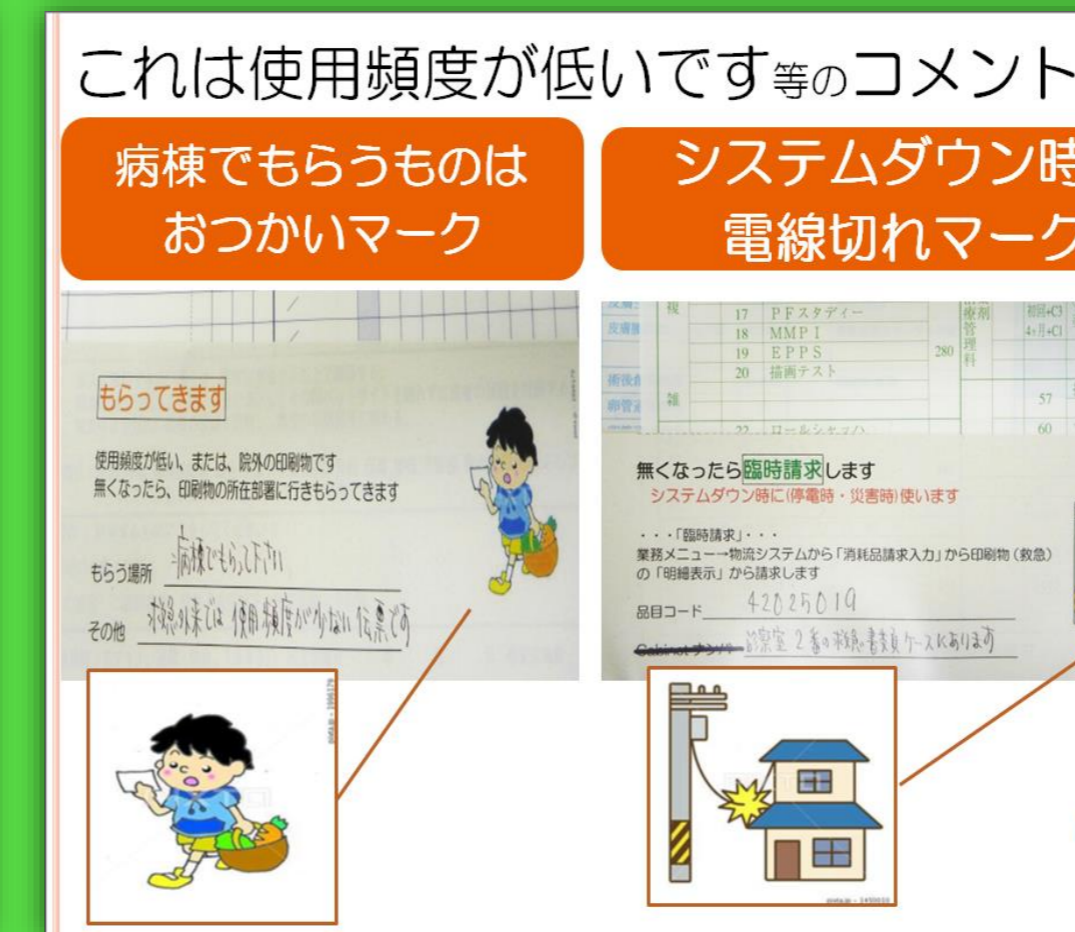
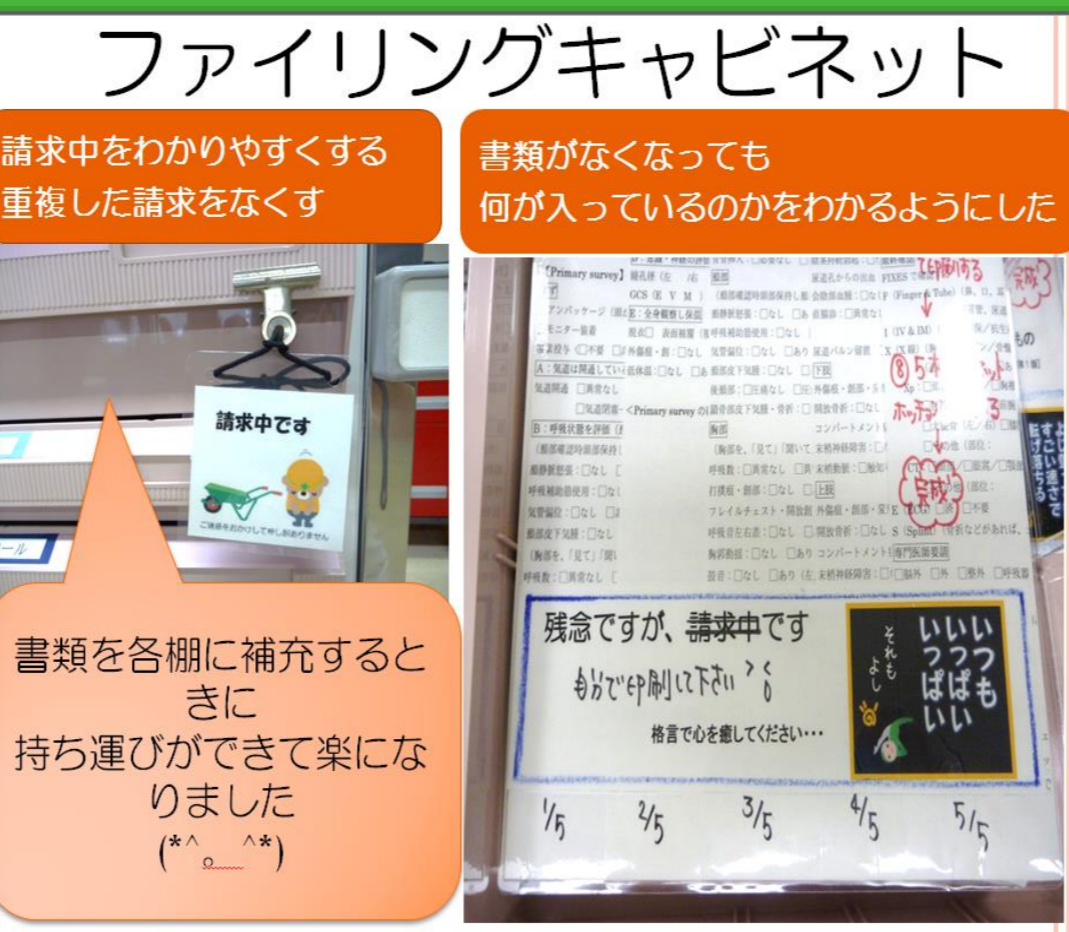
初療室全体 193㎡



異動者の不安・高い緊急性・必要物品の多さ・とにかく覚える!⇒患者にとって平等に安全で迅速な治療を受けられる事に繋がる

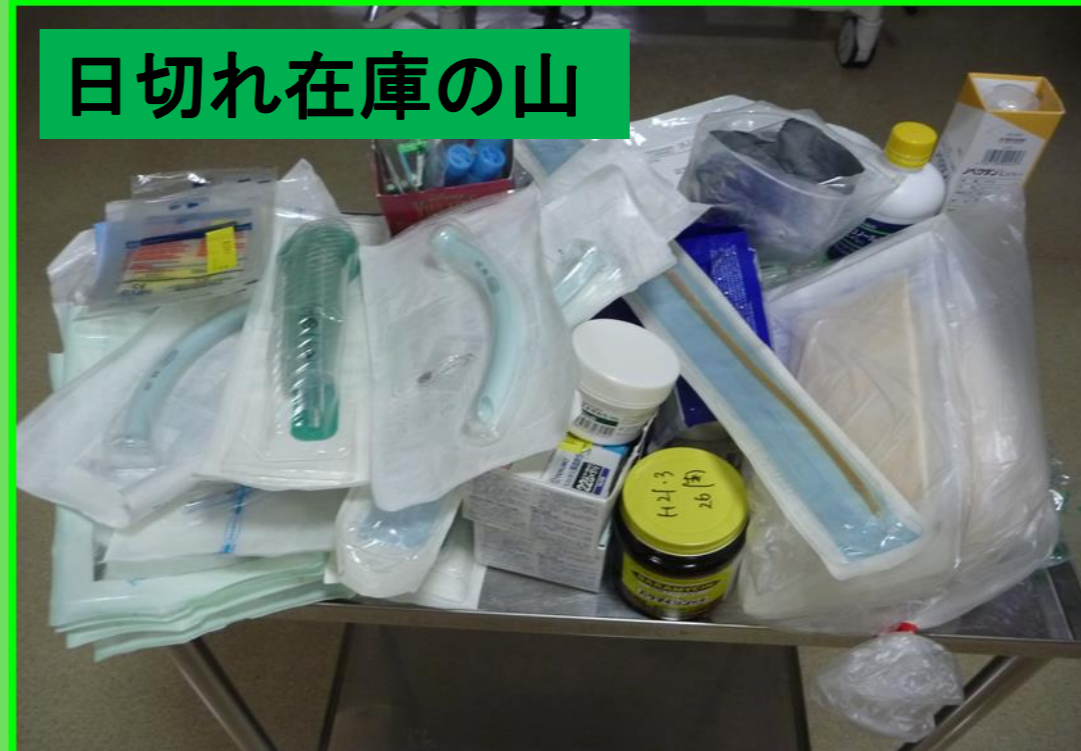


2年目 定数を見直し、使用紙を集約化し、書類の入手方法・保管方法を確立



各箇所にはこのファイリングキャビネットから補充 ⇒ 過剰在庫・請求を防ぎ、在庫なしという状況がなくなった!

3年目 導線に応じた用具・収納家具配置の見直し(防災重視)



4年目 清潔・清掃を習慣化(point!) 週間予定表の工夫と備品の日切れ対策を実施

項目	実施内容	完了
包公車	全体拭き掃除・物品補充・薬品日切れ確認	✓
水	中材物品庫 整理整頓・掃除・物品補充・日切れ確認	✓
	酸素流量計 点検表に沿って点検	✓
	診察室・初療室 椅子・ハンコ拭き掃除と引き出し 整理整頓	✓
木	点滴スタンド 全体拭き掃除&キズ部分の掃除 動きは良いか確認 悪ければ修理	✓
	車椅子 全体の拭き掃除&外空気確認&袋のゴミは捨てる	✓
	初療室カテーテル・ハンコ 拭き掃除&引き出しの中整理整頓	✓
	流し周辺の掃除・整理整頓	✓
	吸入室 整理整頓・掃除・日切れ確認	✓
	心電計・エコーDC 全体拭き掃除&整理&ゼリー・電極・記録紙など補充	✓
金	点滴室カテーテル 拭き掃除(壁も注意)・整理整頓 物品補充・物品の日切れ確認(7:30内)	✓
	点滴室シーツ交換(終業前)	✓
	初療室モニター 拭き掃除&電極・記録紙 補充&コード類 拭き掃除・整理 血圧計カバー・洗浄・乾燥	✓

整理・整頓した場所を維持し続ける為に、具体的な点検・清掃方法明記し、週間予定表に組み込む!



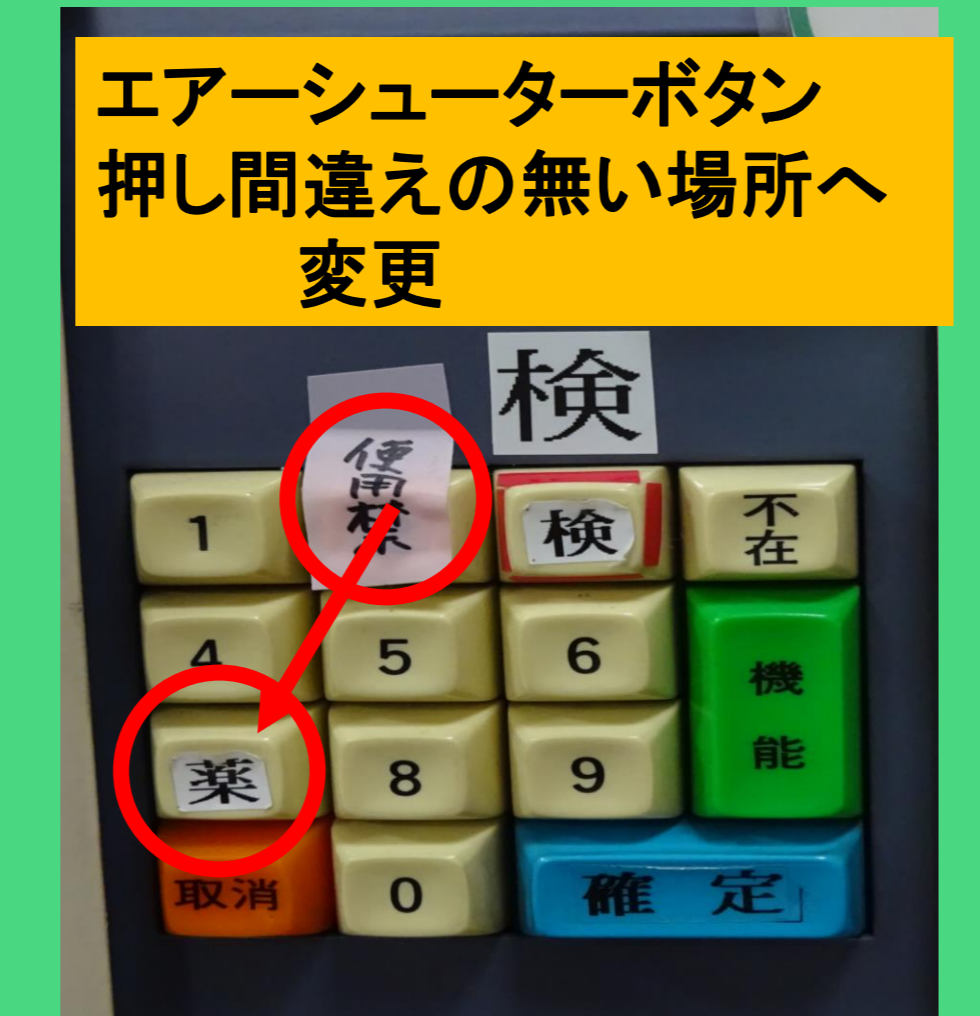
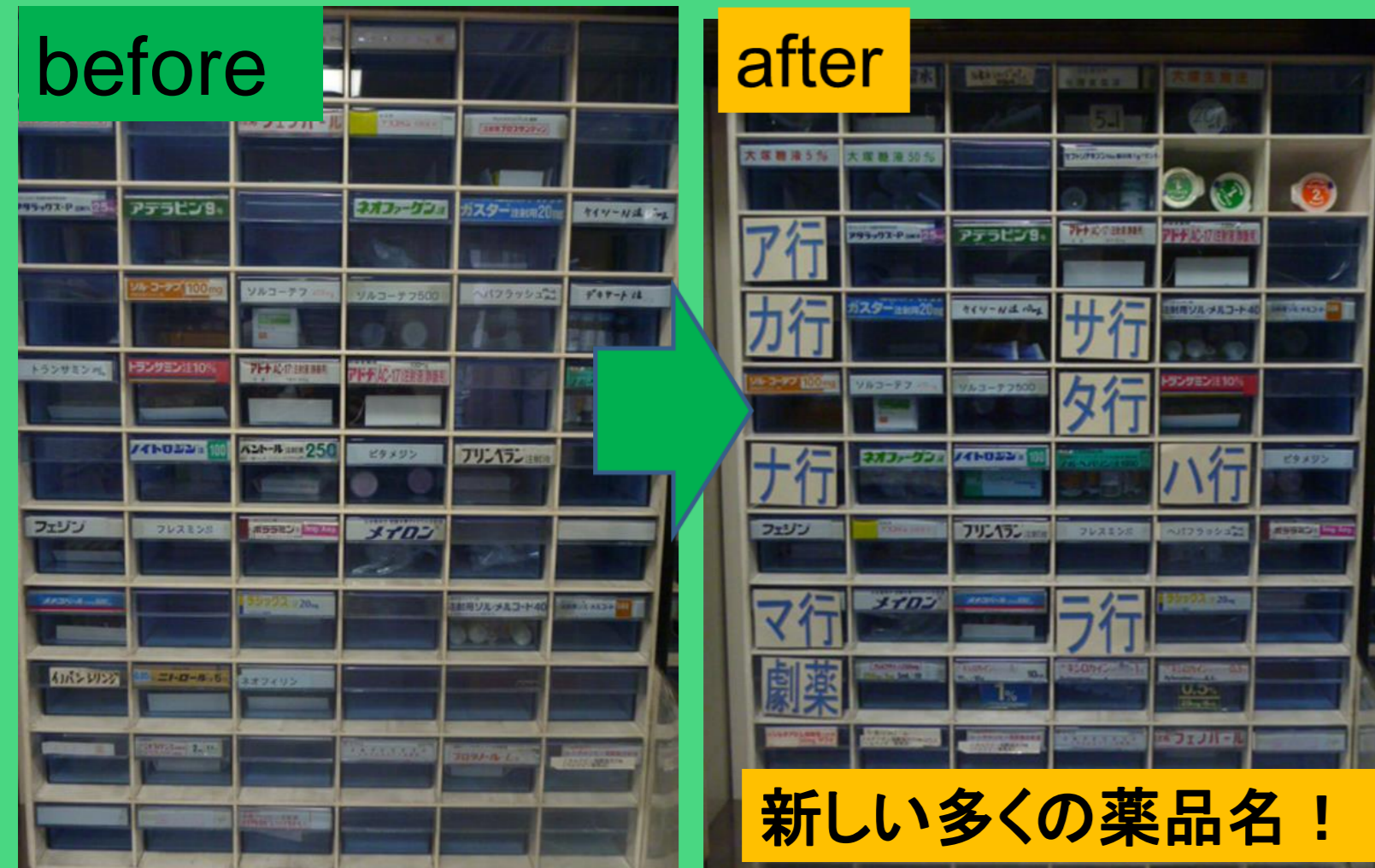
清掃 (Seiso)
清潔 (Seiketsu)
しつけ (Shitsuke)

考察

「忙しいから片付けはするが整頓は無理」と言われていた救急外来に5S活動を導入した。5S活動を推進できた要因は、推進力をもつ職員を中心に効果的な役割分担ができたこと。また、1年ごと5S活動推進により、より安全で効率のよい医療を提供できることを各職員が実感できたことが成果につながったと考える。5S活動は医療安全活動の根幹を支えるが継続が難しい。組織的な取り組みの後押しが今後の活動継続の力となる。

5S活動継続中 (チーム毎 担当場所指定)

外来目標 環境因子によるインシデント0(ゼロ)
年度末 5S活動成果発表会(チーム毎)



エア・シューターボタン
押し間違えの無い場所へ
変更

新しい多くの薬品名!